

## 複合品目として加工用タマネギに取り組む農家の 収量向上による産地の振興

対象者 大規模タマネギ生産者

### 【普及活動のねらい】

管内の加工業務用タマネギ生産者を対象とした令和2年までの取組において、重点指導農家3戸を対象に病害虫と雑草防除を適切に実施できるよう活動した結果、収量が10aあたり4tを超えるモデル農家ができました。また、早植え栽培の実証により、ムギの播種作業との競合が回避でき、従来の作型と同程度の収量を確保できることが確認できました。令和3年産の栽培においては、タマネギ産地の収量の底上げを図ることを目的に、農家数40戸、総作付面積約8haの約6割を占める30a以上栽培している生産者7戸に対して収量向上に対する支援を行いました。

### 【普及活動の内容】

令和3年産タマネギの栽培については、べと病やアザミウマ類の発生状況を現地巡回により把握して、発生状況に対応した薬剤の選定や防除時期など適切な病害虫防除が実施できるよう支援を行いました。

また、雑草対策については、発生状況に応じた除草剤の選択と手除草を組み合わせた作業等の実施について情報提供を行いました。

令和4年産タマネギの栽培については、麦との作業競合が予想される生産者には、早植え栽培を提案し、早植え栽培が適期に実施されるよう排水対策等各作業のタイムスケジュールを示しながら現地巡回・指導により早期の排水対策の実施を促しました。

### 【普及活動の成果】

令和3年産タマネギについては、対象者の目標平均収量である10aあたり3.6tには届かなかったものの、治療効果のある殺菌剤を中心とした病害虫の防除により、病害虫被害が大幅に改善され、10aあたり4t以上の生産者もありました。雑草対策については、除草剤の特性を考慮した効果的な散布とそれを補う手除草を組み合わせた結果、スムーズな機械収穫が実施できました。

令和4年産タマネギについては、令和3年産の反省を踏まえ、早植え栽培の導入や、排水対策を確実に実施したことで、定植作業が適期に完了できました。

今後も、今年度の取組で検討した効果的な病害虫と雑草に対する防除体系を指導するなどタマネギ産地の収量の収量向上に向け、支援を継続します。



適切な雑草防除で大型ピッカーによる拾い上げも円滑に実施



排水対策により、適期に定植を実施